

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年 3月 27日

事業所名： 千葉市大宮学園
児童発達支援事業 たけのこルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		定員に合わせ指導室を使用している	
	2	職員の配置数は適切である	○		3人体制を基本としている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		参加するお子さんの状況に合わせて、過度な刺激を与えないよう整理してある指導室で療育を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		定期的に清掃を行っており、遮光カーテンや空気清浄機等も設置している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		担当職員が目標設定を明確にし、職員間で共有する。また、プログラムの作成と設定をし、担当職員で振り返りを行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		指定管理の定期モニタリングにて業務改善を図っている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年2回の保護者向けアンケートや相談箱を設置し、改善内容は施設内に掲示したりホームページ等で公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	千葉市指定管理者選定評価委員会による外部評価を実施している。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修について年間計画を立て、職員が研修に参加する機会を設けている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		会議を実施し、個別支援計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		概ね年一回、発達検査など個別の評価を実施している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「人間関係・社会性・アタッチメント形成」に重点をおき、自尊心が育まれるよう支援している また、保育所や幼稚園とも連携し支援を行っている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		個別活動と集団活動を組み合わせ、個々に配慮する中で個別支援計画を作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始時に、職員全員で当日の内容や役割分担などを確認するミーティングを実施している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		お子さんの行動を中心に、職員全員で振り返りながら記録を作成している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		お子さんの行動を中心に職員全員で振り返りし、記録を作成している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		毎日職員全員で振り返りを行い、課題など協議を重ねている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者からの相談だけでなく各関係機関から相談・連携を実施している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者からの相談だけでなく、各関係機関から相談・連携(情報共有)を実施している	他機関との連携を密に取り、お子さんの療育に取り入れていく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		保護者からの相談だけでなく、各関係機関から相談・連携(情報共有)を実施している	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		定期的に地域連携日を設定、必要に応じて保育所や幼稚園等へ訪問・電話相談などを行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		千葉県通園施設連絡協議会や千葉市発達障害者支援センターなどの研修へ職員を派遣している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お子さんの状況や課題について、プログラムの合い間や個別相談等で共有している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		個別支援において、ペアレント・トレーニングの要素を取り入れて支援している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約及び契約更新時に内容の確認を行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		定期的に個別支援計画の説明を行い、その都度現状確認を保護者と実施し同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		誰もが相談できるように相談箱を設置している 定期的に心理判定員などのお話を実施している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者からの相談等については、その都度職員間で検討・確認を行い、適切な対応に努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		各回ごとに、次回の予定や留意事項について、お子様や保護者へ口頭で説明している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵の掛かるロッカーにて保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		随時面談や相談を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策定している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月一回、防災訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		服薬状況やてんかん発作等について、契約時に確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	給食は、常食提供のみ行っている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、定期的に伝達講習を実施している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束を行っていない	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。